

2025年度 学校自己評価・関係者評価

学校番号72 長野県木曾青峰高等学校 全日制

学校教育目標	重点目標
<p>新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる (re デザイン:繰り返し描き実現して行く) (教育方針)</p> <p>◇育てたい人間像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あきらめない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人 ○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていく人 ○自然や地域文化を大切にすることをもち、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人 <p>◇育てたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』 ○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』 ○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』 ○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』 ○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』 ○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』 	<p>① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</p> <p>② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。</p> <p>③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。</p> <p>④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。</p>

評価 A…よい B…おおむねよい C…不十分

アンケート集計 5…よい 4…おおむねよい 3…どちらともいえない 2…やや不十分 1…不十分

自己評価	学校評議員記入欄		
学習指導	評価	評価	コメント
<p>授業内容の充実</p> <p>【成果と課題】 授業アンケートの結果を見ても授業内容が充実している。生徒も授業に対して積極的に取り組んでいると言える。ICT機器を導入し、各教科の特性を活かした授業が多く展開されている。今後は、デジタル教材やロイロノートなどを用いたタブレットをより有効に使うことが求められる。</p> <p>【改善策・向上策】 タブレット導入の授業については、教員間での積極的な意見交換、公開授業、研修会などを積極的に実施することや他校の実践例の研究を行うことが望ましいと考える。</p>	A	A	<p>・毎回授業参観での生徒の姿は、はじめに課題に取り組んでいます。4日合同探究発表では、ICTを生徒は巧みに使いこなしていると感じました。</p> <p>・授業参観では、教科やクラスによる差が感じられました。</p>
<p>家庭学習の習慣</p> <p>【成果と課題】 学校から出された課題はほとんどの生徒は行っている。しかしながら受動的な姿勢が多く見られ、自ら考えて学習方法を身につけていくことが必要とされる。</p> <p>【改善策・向上策】 各教科において、学習方法のベースをしっかりと説明して実践できるような働きかけがさらに必要となる。自ら課題を見つけ解決していく力を、生徒が身につけるような学習指導を行わなければならない。短い時間で集中して取り組むことも必要である。</p>	B	B	<p>・課題に対する取り組みについては感心しました。自ら課題を見つけ、また学習の習慣が身につくことを期待します。</p> <p>・中学校でも同じ課題があります。定着には、復習、予習が必要であるため、小、中、高で連携させていただきます。</p>
<p>授業・補習内容の充実</p> <p>【成果と課題】 各学科で実施している補習にはほぼ全員の生徒が参加している。各学科に特化した補習が実施されている。3年生については放課後や土曜を利用した補習を実施することで学力の向上に努めている。理数科については土曜授業の影響もあり、放課後補習に重点を置かなければならないのが現状である。日課表や教育課程の見直しが必要となる。</p> <p>【改善策・向上策】 休業中や土曜日の補習については、各教科の特性を活かした内容を十分に検討し実施する必要がある。</p>	A	A	<p>・木曾青峰高校の先生方には、本当に頭が下がります。中学校で定着すべきことも補習していただいております。高校の対応とは思えないほど個別の相談に乗ってください、ありがたいです。</p> <p>・補習等をやっていただけることはありがたいことと思います。</p>
<p>各種資格検定への取り組み</p> <p>【成果と課題】 目標を持ち積極的に資格取得に挑戦する生徒が多く、熱心に学習する姿が見受けられた。資格取得や検定試験に合格することで次の目標に向かう意欲が持っている。</p> <p>【改善策・向上策】 資格取得学習の充実と改善を図っていきたい。目標を高く持ち毎日の学習が充実したものになるようにしたい。合格したことから自信を持たせ、次の目標に向かわせたい。</p>	A	A	<p>・中学生の志望動機に資格取得があります。丁寧に指導いただきありがたいです。</p> <p>・資格検定に取り組む生徒さんがいることは、良いことと思います。</p>

進路指導			
進路目標の明確化 【成果と課題】 進路講演会、企業説明会、進路ガイダンスなどを通じて、生徒に自らの進路を主体的に考えさせた。日頃の面談、懇談会において生徒一人ひとりの進路希望を確認し、その実現に向けて助言をすることができた。 【改善策・向上策】 生徒が進路目標を早期に明確にできるよう、これからも学年に合わせた進路行事を企画し、進路について考える機会を与えていきたい。	A	A	
具体的な進路指導 【成果と課題】 年度当初に作成した指導計画に基づき、各学年工夫のもと学科の特性に応じた進路指導が行われ、成果につながっている。上級学校の資料や求人票、情報検索用タブレットを生徒が活用しやすいよう整備している。 【改善策・向上策】 オープンキャンパスや企業見学、校外の進学相談会などに生徒が参加することによって、希望する進路について理解を深めることができた。	A	A	・様々な制度改革もあり、それに対応していくことの困難があると思いますが、木曽青峰高校を選択してくれた生徒さんのために最善を尽くしていただければありがたいです。
進路の実現 【成果と課題】 生徒の進路実現に向け、学校全体で支援できた。模擬試験の結果や進路希望調査を把握したうえで面談を行い、生徒の希望や条件にあった進路先を考えさせることができたが、突然の進路変更が起こらないよう、生徒・保護者にルールを徹底する必要がある。 【改善策・向上策】 今年は専門学校を中心に総合型選抜の受験が増加した。この傾向が続けば、受験の早期化への対応が必要になる。就職や進学に関する規則については全体の場だけではなく懇談時にも確認し、周知を徹底したい。	B	A	・必要時、丁寧な対応をされていると思います。 ・大学も企業も選択方法を様々な工夫しており、それへの対応が大変なことと思いますが、課題としてとらえているため安心です。

生徒支援		評価	
生徒の人権意識・自己指導力の育成 【成果と課題】 学校生活アンケートやSSTを通して、対人関係のスキルを身に付けつつある。授業や部活動や生徒会活動で生徒が人間関係を構築し、主体的に取り組む姿勢が見られるようになった。 【改善策・向上策】 SNSの使用講座やゲートキーパー講習、SSTで学んだことを日常生活に生かせるように、更なる働きかけをしていく。生徒が主体的に考え、自制心を身に付けられるようにできるような場面を意識させていく。	A	A	・授業以外の活動が生徒さんの成長につながっていることがわかりました。 ・部活動等で人間関係形成能力を育てる環境をつくっていただいていると思います。 ・様々な取り組み、ありがたく思います。
社会性の涵養 【成果と課題】 社会との関わりやSNSの扱い方、安全性について、生徒一人ひとりが構築していく必要がある。主体的に社会と関わりを持つことで、社会の一員としての自覚と責任を持つ生徒を育成していく。 【改善策・向上策】 社会と関わる場面を積極的に提供し、モラルやマナーの向上や社会性と協調性の涵養を目指す。SNSも含めたあらゆる場面が育成の機会であるという認識を全職員が持ち、生徒育成に取り組んでいく。	B	B	・社会の変化に伴い、課題も新たになりますが、引き続きのご指導お願いします。 ・SNSのトラブル等で学ぶこともあるが、引き続き関係性の中の自分のあり方を深く見つめる社会人になってほしいので、継続してご指導をお願いします。 ・様々な取り組み、ありがたく思います。
カウンセリングの充実 【成果と課題】 カウンセリングを周知し、関係職員と連携し、生徒の実態把握に務めた。支援が必要な生徒に対して円滑にカウンセリングに繋げたり、相談指導を行った。SCの配当時間に限りがあるため、すべての生徒に十分なカウンセリングを提供することは困難である。職員で生徒の相談指導や情報共有を満足に行うことが困難である。 【改善策・向上策】 カウンセリングの年間計画にて調整をし、カウンセリングを必要とする者に十分な対応ができるように務める。生徒の情報共有を密に行い、生徒の実態把握を行う。	A	A	・様々な取り組み、ありがたく思います。

特別活動		評価	
自主活動の充実と生徒の自立 【成果と課題】 中庭を活用して、学年やクラスの垣根を超えた交流の場とすることを目的としたMonthlyEventを実施することができた。(4月～9月 計6回) 生徒減少による着陸祭係構成の見直しは生徒たちが主体的に話し合いを行い、決定することができた。 【改善策・向上策】 委員会や文化祭係の編成、行事の内容については今後も検討を繰り返してより良いものにしていきたい。	A	A	・生徒さんの主体的な活動を今後も継続していくことを期待します。
地域を視野に入れた活動 【成果と課題】 着陸祭や地域での行事、ボランティア活動などを通して、本校をアピールする事が出来た。同時に生徒が地域を見つめなおす良いきっかけをつくることができた。 木曽養護学校との交流会は今年度も4回行うことができた。特に12月の交流会は新役員にとって初めて企画の計画と運営となるためよい経験になっている。 【改善策・向上策】 地域の行政やボランティアと連携しながら、様々な地域課題に積極的に関わっていけるような取り組みを行っていきたい。	B	B	・交流会は、林業大学校又は地域の自治組織等も視野に入れたらどうか。 ・雪あかりなど地域行事に参加しながら、地域の方や中学生に声をかけている姿はありがたいと思います。 ・地域との連携でできることがあれば、声をかけていただきたいと思います。

全般	評価	
PTA活動の充実・家庭との連携 【成果と課題】 ・概ね計画通りに総会や地区懇談会を開催することができた。 ・学校環境委員会、学校行事委員会、文化委員会の活動を予定通り実施できた。 ・地区PTA懇談会に関しては、地区ごとの意見を集約したものを参考に、今後のあり方を考える必要がある。	B	B
【改善策・向上策】 ・三つの委員会の構成員に関しても、再編成を考える必要が出てきた。今後の理事会で協議していきたい。		
情報発信 【成果と課題】 ホームページに関しては、県の再構築事業を活用し、見やすくわかりやすいホームページにリニューアルを行った。本校関連の新聞記事の掲載数も1月23日時点で26件と地域に向けた発進を積極的に行っている。地域の方からも記事について反響がある。 スクールマガジンは、今年度第2号まで発行予定である。	B	A
【改善策・向上策】 ホームページは、今後更新頻度さらに増やせるよう職員研修を行いながら学校のPRにつなげていきたい。 スクールマガジンは次年度も郡内中学校(一部小学校)の全生徒に配布していきたい。また、発行回数も予算面の課題はあるが、できるだけ数多く発行し、学校および生徒の活動状況を地域の皆様に発信していきたい。		
地域との連携・開かれた学校づくり 【成果と課題】 文化祭(着陸祭)には多くの地域の方、保護者の方に来校いただいた。 体験入学については、参加者数は昨年度とほぼ同数であった。全国募集関連の参加者も4名いた。個別の学校見学は9人で郡外からの参加者であった。 本年度、年間通しての授業公開を行ったが参観者数は少なく、情報発信の方法を検討する必要がある。4科合同発表会は郡内中学校等および蘇南高校へオンライン参加通知を配信し、本校の広報につながった。 課題研究発表会およびインテリア科作品展示会は、生徒の学習内容及び成果を保護者の方々に公開する予定である。 危機管理体制については木曾地域振興局・木曾町と話し合いの機会を持った。今後は更に検討が必要である。	B	B
【改善策・向上策】 ホームページやスクールマガジン等を通して、本校の活動を広報の充実に努めたい。		
生徒・職員の健康管理 【成果と課題】 生徒の感染症対応については、感染状況を把握し、関係職員間でこまめな情報共有を行った。また、インフルエンザ流行期には、適宜注意喚起や予防行動の呼びかけを実施した。一方で、流行時期という要因はあったものの、予防対策の徹底など、より一層の感染予防策を講じる必要があったと考える。 職員の健康管理については、学校安全衛生委員会において産業医から助言を受け、内容を踏まえた検討を行った。	B	B
【改善策・向上策】 ・分掌で負担軽減となるようにする。 ・感染症予防について、日常的な注意喚起や環境整備を強化し、予防対策の徹底を図る。		
連絡体制の完備 【成果と課題】 一斉メールにより必要な情報を各家庭に伝える事ができた。特にインフルエンザが流行した際の連絡は、迅速で正確に行う事ができた。	A	A
【改善策・向上策】 一斉メールは登録率100%に向け、継続して登録の呼びかけを行なう。		
		・時代の流れで、小、中はPTAのあり方を見直しています。職員、保護者の負担を軽減し、持続可能なシステムにしていだければと思います。 ・活発な発信が行われていると思います。(県内の情報番組みました。生徒さんの元気な姿をみる事ができませんでした。) ・進路選択の上で必要な情報をわかりやすく提供いただいていると感じています。 ・郡内中学への情報発信については、様々な形で積極的にやっていたきたいと思います。
		・入学生の増加を期待しています。 ・4科合同発表会では、中学生にとっても興味深い内容で、しかもわかりやすい発表でありがたかった。 ・郡内中学への情報発信については、様々な形で積極的にやっていたきたいと思います。
		・インフルの流行で学校閉鎖及び学年、学級閉鎖があったと聞いている。こうなる前の対策が十分ではなかったかと拝察します。 ・兄弟関係で中学校とは連動して感染拡大防止につとめていただいています。
		・迅速な対応でありがたいです。